

平成30年度特許情報普及活動功労者表彰

一般財団法人日本特許情報機構理事長賞 【特許情報活用研究功労者】

株式会社三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部 知的財産室 室長
山内 明

功 績

セイコー電子工業株式会社（現 セイコーインスツル株式会社）にてエンジニアとして活躍された後、酒井国際特許事務所を経て、現在は株式会社三井物産戦略研究所室長として、三井物産グループ向け知財コンサル部門を統括しつつ、知財コンサルタントとしても活躍されておられます。IP ランドスケープの先駆者として、独自手法開発・実践に尽力されるとともに、セミナー講師の他、有志研究会・勉強会もリードされる等、特許情報の活用に向けた研究およびその普及活動にも尽力されています。

知財情報解析、特許マーケティング、IP ランドスケープなどをテーマとした論文・出版物等を多数発表するとともに、セミナー講師として、これらの特許情報分析が事業に有用であることを啓発してこられました。

2017年7月付日経朝刊のIP ランドスケープ特集ではインタビュー記事が掲載され、2018年には産業動向調査手法を用いて技術開発トレンドを炙り出し、もって論点ゴール（深堀分析テーマ）を合理的に設定する、IP ランドスケープ2.0なる新たなフレームワークを開発されておられます。

保有特許出願件数が少ない中小企業にも適用可能な独自手法、素材企業がエンドユーザのニーズを網羅的に把握可能なニーズドリブンバリューチェーンコンセプト、デジタルトランスフォーメーション時代の「ことづくり」に適用可能なデータドリブンバリューチェーンコンセプト等、数多くの派生・改良手法をも開発、実践されておられます。

上記の通り、知財情報戦略、特許マーケティング、IP ランドスケープ（2.0）等、特許情報の活用・分析に関する研究をこれまで継続的に実践されており、特許情報の活用研究に大きく貢献されました。

今般、特許情報活用研究功労者賞を賜り、身に余る光栄に存じます。2008年より知財情報解析の研究活動に着手し、日本弁理士会継続研修講座（2009年～）、知的財産教育協会知的財産アナリスト講座（2011年～）、東京工業大学大学院 キャリアアップMOT（2012年～）、日経BP技術者塾（2015年～）等に登壇し、数多くの受講者や講師関係者との出会いがありました。小職とは異なる解析のアプローチやスタイルの持ち主等、魅力的な同志にも恵まれ、共に登壇したり共著するに至った方も少なくありません。小職の研究活動を互教の精神で支えてくれた皆様、セミナーや寄稿等の啓蒙活動をサポートして下さいました皆様、そしてこれらの活動に理解を示して下さいました株式会社三井物産戦略研究所の皆様にご心から感謝致します。

